

令和4年度学校評価における保護者アンケート結果(7月)【概要】

7月に実施した「令和4年度学校評価における保護者アンケート」(以下、保護者アンケート)の結果がまとまりました。今年度の茶内小学校として目指すゴール(自分のよさに気付き、役立つ喜びを知り、未来社会で活躍できる子ども)の実現に向けた、現時点での成果と課題、今後、どのようなことに取り組んでいくべきなのかを全ての保護者で共有できたらと考えています。

1 保護者アンケート集計結果 4:している 3:どちらかといえばしている 2:あまりしていない 1:していない

質 問 事 項	4	3	2	1
1 私は、子どもが自分のよさに気付くように働き掛けている。	18.2%	65.9%	13.6%	2.3%
2 私は、子どもが人(友達や家族など)の役に立つ喜びを実感できるように働き掛けている。	20.5%	68.2%	11.3%	0.0%
3 私は、子どもが人(友達や家族など)の立場や考え方を尊重できるように働き掛けている。	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%
4 私は、子どもが自分の考えをもてるように働き掛けている。	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%
5 私は、子どもが自分の考えを表現できるように働き掛けている。	22.7%	61.4%	15.9%	0.0%
6 私は、子どもが何事にも挑戦してみようという意欲をもつように働き掛けている。	40.9%	52.3%	6.8%	0.0%
7 私は、子どもが学習に興味・関心をもつように働き掛けている。	22.7%	47.7%	29.6%	0.0%
8 私は、学習している(学習した)子どもに賞賛や励ましの声をかけている。	45.5%	36.4%	18.1%	0.0%
9 私は、新聞等を活用して社会の動きを子どもと共有している。	9.1%	27.3%	43.2%	20.4%
10 私は、子どもが社会人として活躍する未来の社会について子どもと話している。	20.5%	20.5%	43.2%	15.8%
11 私は、読書の楽しさについて子どもと共有している。	18.2%	20.5%	45.5%	15.8%
12 私は、子どもの将来の夢を知っている。	50.0%	20.5%	22.7%	6.8%

質 問 事 項	4	3	2	1
13 私は、子どもの将来の夢の実現に向け、応援している。	54.5%	27.3%	11.4%	6.8%
14 私は、子どもの話を毎日聞いている。	63.6%	34.1%	2.3%	0.0%
15 私は、家事の分担など、家庭における子どもの役割を決めている。	25.0%	31.8%	40.9%	2.3%
16 私は、家事など、家庭における仕事に子どもが自分から取り組むように働き掛けている。	27.3%	36.4%	31.8%	4.5%
17 私は、家庭における役割を行っている（行った）子どもに賞賛や励ましの言葉をかけている。	45.5%	43.2%	11.3%	0.0%
18 私は、テレビやゲームなどの時間を子どもが自分で決めるように働き掛けている。	18.2%	38.6%	29.5%	13.7%
19 私は、インターネットなどの使い方について、子どもが自分で決めるように働き掛けている。	20.5%	36.4%	31.8%	11.3%
20 私は、食習慣や睡眠時間など、家庭での生活習慣を子どもが自分で確立できるように働き掛けている。	40.9%	50.0%	9.1%	0.0%
21 私は、手洗いやうがいなど、子どもが自分の健康に気を付けるように働き掛けている。	47.7%	43.2%	9.1%	0.0%
22 私は、社会生活のルールやマナーなどを子どもが自分で身に付けるように働き掛けている。	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%
23 学校は、コロナ禍においても子どもたちの「学び」の機会を保障している。	36.4%	38.6%	18.2%	6.8%
24 学校は、子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育む授業を行っている。	27.3%	40.9%	27.3%	4.5%
25 学校は、子どもたち一人一人ま学習の状況に寄り添った授業を行っている。	31.8%	40.9%	25.0%	2.3%
26 学校は、いじめなどの問題行動に毅然として対応している。	27.3%	50.0%	18.2%	4.5%
27 学校は、保護者に対して各種情報を積極的に発信している。	45.5%	38.6%	9.1%	6.8%

質 問 事 項	4	3	2	1
28 学校は、子どもたちにとって安心・安全な場所になっている。	40.9%	47.7%	9.1%	2.3%
29 学校は、ICT機器等を積極的に活用して学校改善に取り組んでいる。	31.8%	45.5%	20.5%	2.2%

※肯定的な回答（4と3）が80%未満は網掛け

2 学校改善のアイデア

- 保護者と教職員が、学校（学級）経営について対話する機会の設定
- 子ども同士、子どもと教師など、互いが尊重できる環境づくり
- 教職員の多様性が認められ、可能性を伸ばせる仕組みの構築
- 教職員が本来業務に専念できる環境整備
- 学校経営（学校運営）における保護者の役割の明確化
- 丁寧な情報発信
- ねらいを明確にした教育活動の実施
- コロナ禍において「どうしたらできるか」という発想を重視した学校行事の実施
- 子どもたちが多様な教職員と触れ合える機会の設定
- 縦割り活動など、他学年の子ども同士が交流する機会の拡充
- コロナ禍における最適な環境についての検討

3 今後の方向性（考察を含む）

【保護者として】

保護者の取組について、半分以上の質問事項において肯定的な回答が8割以上でした。また、今年度の重点教育目標の実現に直接的に関係する質問項目（1～6）においても肯定的な回答が多く、保護者の学校経営参画意識が高いことが窺えます。一方で、子どもたちが未来社会を生き抜いていくためには、保護者として今、何をすべきか、これまで以上に意識して子どもたちを見守り、導いていく必要があると考えます。特に、携帯電話やタブレットなどは、未来社会を生きていく上で必須のアイテムです。これらの有効な活用について、保護者として改めて考えるとともに、子どもと話し合う機会を設定することが大切であると考えます。

【学校として】

学校の取組について設定した7つの質問項目のうち、肯定的な回答が8割以上だったのは2つだけでした。特に、ICT機器の活用を含め、未来社会を生き抜く資質・能力を育む授業の創造は、全教職員が共通の認識の下、改めて取組を加速させる必要があると考えているところです。また、学校改善のアイデアもたくさんいただきました。2学期もコロナ禍での教育活動が想定されます。これまで以上に、ねらい（子どもたちの変容）を明確にして、各種取組を推進するとともに、保護者との情報共有を基盤とした学校経営（学校運営）を推進していきたいと考えます。今後とも保護者の皆さんの御理解・御協力をよろしくお願いいたします。